

## 「呼びかけ」と「応答」

今週のことです。年少のちゅうりっぷ組の子どもたちが、お友だちクイズをやっていました。先生が、順番にお友だちの名前をきいていきます。そうして、「このお友だちは『はるなちゃん』です。みんなで、呼んでみましょう。」と先生が言います。

子どもたちが「はるなちゃん。」と呼びます。

すると、はるなちゃんが「はい。」ときちんと返事をします。同じことをみんなが順番にやります。

こうして子どもたちは「あの子」や「この子」ではなく、きちんとその子の名前を覚えていきます。また、名前を呼ばれた子は、「はい」と返事をします。「はい」という返事は、「ぼくはここにいます」「私はここにいるよ」と、自分を表現することです。こういう呼びかけと応答を通して、子どもたちはお互いにかけてあげのない大事な友だちになっていきます。



## みんなでやるとできることがあります

4月20日(火)の保育参観は、短い時間で参観していただくようにしました。保護者の皆様のご理解とご協力に、心から感謝しています。参観した感想を書いていたいただきましたので紹介します。

### 【年少組の保護者の方から】

- 入園前までは甘えん坊でしたが、入園してから、あいさつや礼儀などを教わって、とてもたのしくなってくれました。
- (糊は)、前から手がよごれる、ベタベタするというので、自宅では嫌がってやらなかったけれど、幼稚園では(糊を)使っていて、成長したなと思いました。

### 【年長組の保護者の方から】

- 先生のお話をしっかり聞き、手をあげて発言する姿に驚きました。幼稚園では大きな声で発言したり、発表したりする姿を見たことがなかったので、みんなの前やたくさんの方がいる前で発言できる姿に、成長を感じました。
- お友だち数人と砂遊びをしていました。自分なりに想像をふくらませて、「こうしたら、こうなる」というふうに考えるようになってきたなと思いました。お友だちの意見を素直に聞いて、違うなと思ったことには「こうなんじゃない？」と言えるようになっていて驚きました。

一人ではできないこともみんなでやるとできることがあります。集団にはそういう力があります。短い時間でしたが、子どもたちの成長した姿や家庭では見られない別の一面なども見て頂くことができたと思っています。コロナ禍の中にあっても保育参観は大事にしていきたいと考えています。